

2020年4月10日

【ご参考資料】

新型コロナウイルス感染拡大下において

西友、セカンドハーベスト・ジャパンに緊急の食糧支援を決定

西友では、日本で初めて法人化されたフードバンクであるセカンドハーベスト・ジャパンと協力し、2009年より食品寄付活動を行っています。

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大による学校の休校などで、支援を必要としているご家庭の食費の負担がさらに増大している状況を受け、西友はそのようなご家庭への食糧支援をしているセカンドハーベスト・ジャパンへの緊急の食糧支援を決定しました。



西友の物流センターから出荷される米



セカンドハーベストに納品される米、卵



すでに、西友の物流センターより、第一回目の寄贈が4月7日に実施されました。今後6週間に渡り、トータルで卵6,000ケース、牛乳6,000本、お米約14トン、インスタントみそ汁約10,000パックなど、食糧を必要としているご家庭に届けられる予定です。

【西友の食品寄付の流れ】

西友では、賞味期限及び消費期限の管理を徹底するため、社内規則に基づいて、それぞれの期限到来前に食品を店頭より撤去し、廃棄処分としています。この食品廃棄物の発生抑制を図ると共に、期限到来前の品質に問題がない食品をできる限り有効活用するため、セカンドハーベスト・ジャパンが行うフードバンク活動を通じて、福祉施設などへ食品を寄付しています。

【セカンドハーベスト・ジャパンについて】

セカンドハーベスト・ジャパンは日本で初めて法人化されたフードバンク団体です。フードバンク活動とは、賞味期限内であるにも関わらず、包装の不具合や賞味期限が迫っている、季節商品である、などの理由から、食品企業や量販店、輸入業者、卸業者、農家などが市場に流通できない食品を、食料を必要としている福祉施設や貧困者に配分する活動です。1967年に米国アリゾナ州で始まり、日本では2002年にセカンドハーベスト・ジャパンが本格的に活動を開始しました。